

あいちビジョン 2030 2024－2026 実施計画 (概要版)

- 「あいちビジョン 2030」(2020 年 11 月策定)の推進のため、毎年度、年次レポートによる進行管理を実施。
- ビジョン推進中期の初年度となる 2024 年度は、ビジョンに位置付けた政策の 3 か年(2024～2026 年度)の実施計画を作成。
- 「2024－2026 実施計画」では、ビジョンで掲げた 10 の重要政策の方向性に沿った 47 の主要政策ごとに 3 か年の工程表を示す。また、県が取り組む主な政策やその背景などを 38 のコラムで分かりやすく紹介。

ビジョン策定後の社会経済情勢の変化と新たな政策課題

「あいちビジョン 2030」の推進前期（2021～2023 年度）では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や資源価格の高騰などにより企業活動や家計が大きな影響を受けた。また、少子化が加速し、我が国の合計特殊出生率は過去最低を記録した。一方、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症へと変更され、社会経済活動の正常化が進んでいる。

このような社会経済情勢の変化に加え、新たな政策課題の顕在化や愛知の将来に大きな影響を与えるプロジェクトの進展など、ビジョン策定時とは異なる状況も出てきている。

<主な社会経済情勢の変化と新たな政策課題>

- 少子化の加速（愛知県の 2023 年の合計特殊出生率は 1.29）
- コロナ後の社会経済活動の正常化（2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類感染症に変更）
- 自然災害リスクの上昇（気候変動による災害の激甚化・頻発化や南海トラフ地震の切迫性の高まり）
- 多様な生き方を認める社会への変化の兆し（2024 年 4 月に愛知県ファミリーシップ宣誓制度を導入）
- 深刻な人手不足（少子化の加速、2025 年には団塊の世代すべてが後期高齢者に）
- 柔軟な働き方と休み方改革の気運の高まり（テレワークなどの柔軟な働き方の浸透、「休み方改革」プロジェクトの推進）
- デジタル化の進展（生成 AI を始めとしたデジタル技術の進化の加速やデジタル人材の不足）
- リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開業時期の不透明化（東京・名古屋間の工事完了予定時期が「2027 年以降」に変更）
- カーボンニュートラル・生物多様性に係る新たな国際目標の設定（2030 年度の温室効果ガス削減目標を 2013 年度比 46%に引き上げ）
- 愛知を舞台とした大規模プロジェクトの進展（アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催や STATION Ai の整備） など

ビジョン中期3年間の主な取組方向

ビジョンで示した4つのめざすべき愛知の姿の実現に向け、新たな視点を踏まえながら、取組を進めていく。

◆危機に強い愛知 ～感染症や自然災害等のリスクに負けない強靱な地域へ～

- 新たな感染症に迅速に対応できる体制を整備するとともに、企業等が有事の際に社会経済活動を維持するための取組への支援を継続的に行っていく。また、自然災害のリスクが上昇する中、今後増加が見込まれる高齢者や在留・訪日外国人などへの対応を含め、総合的かつ多層的に防災・減災対策を講じていく。さらに、交通事故防止対策など安心・安全なまちづくりを推進していく。

◆すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知 ～多様性を尊重し、豊かな時間を楽しみながら、全員が活躍する社会へ～

- 少子化対策を充実させるとともに、子どもを取り巻く課題に対する支援に取り組んでいく。また、あらゆる人が多様な価値観を有しながら、本人が望む生活が営める環境を整備していく。さらに、多様な人材が活躍できる環境づくりや学び直しを行うことができる環境づくりに取り組んでいく。

◆イノベーションを創出する愛知 ～柔軟な働き方の中で、世界とつながり、新たな挑戦と未来を拓く創造が可能な社会へ～

- モノづくり企業とスタートアップとの融合による「あいちスタートアップ・エコシステム」の形成や、「革新事業創造戦略」の推進による社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの組成等を通じ、幅広い産業分野において愛知発のイノベーションを絶え間なく創出する「国際イノベーション都市」へと進化させていく。また、「休み方改革」の推進等により、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による経済の活性化を実現していく。

◆世界から選ばれる魅力的な愛知 ～県土をスマートに活用しながら、日本中央回廊の中心を担い、首都圏の社会経済的な機能を代替しうる大都市圏へ～

- リニア中央新幹線の全線開業に伴う「日本中央回廊」の形成を見据え、陸・海・空の交通インフラの整備や、名古屋都心部等への高次都市機能の更なる集積などの大都市圏づくりに取り組んでいく。また、ジブリパークやアジア競技大会・アジアパラ競技大会などのビッグプロジェクトを最大限に活用して愛知の魅力を発信していくとともに、持続可能な経済・社会システムの構築等を強化していく。

基本目標の達成に向けて

- ビジョンで示した4つのめざすべき愛知の姿を見据えながら、地域が一丸となって、向こう3か年の地域づくりに着実に取り組むことにより、2030年度に向けて基本目標「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～」を達成していく。
- あいちビジョン2030では、基本目標の達成に向けた進捗を評価するための進捗管理指標に2030年頃の数値目標を設定している。これらの達成に向け、3か年の地域づくりを着実に進めるため、2026年頃の進捗目標を設定した。また、10の「重要政策の方向性」ごとに設定している進捗管理指標についても、2026年頃の進捗目標を設定（15、16頁）し、ビジョンの進行管理の際の参考としていく。

基本目標の達成に向けた進捗を評価するための進捗管理指標の2026年頃の進捗目標

進捗管理指標	進捗目標	現状
＜暮らし＞ 県民の幸福感（10点満点）	平均6.5点超の維持（～2026年度）	平均6.7点（2021～2023年度）
＜経済＞ 県内総生産の国内総生産に対するシェア	7.6%（2027年度）	7.4%（2021年度）
＜環境＞ 温室効果ガスの総排出量の削減率（2013年度比）	46%削減（2030年度）	15.2%削減（2021年度）

1 危機に強い安全・安心な地域づくり

主要政策		主な施策と目標等
1-1	新たな大規模感染症リスク等への対応	○愛知県危機管理推進要綱に基づく危機管理の総合的な推進、大規模災害時の業務継続に向けた研修【毎年度6回】など危機管理意識・能力の育成向上 ○新たな変異株の早期捕捉のための検査体制の整備など医療面での対策の推進 ○サプライチェーンの中核をなす分野の企業立地の促進や、テレワークの活用促進【中小企業のテレワーク導入率：30%（2025年度）】など強靱な経済構造の構築 ○愛知県感染症対策連携協議会を中心とした関係機関や諸団体との連携の強化
1-2	ハード・ソフト両面からの防災・減災対策	○住宅の耐震診断費、耐震改修費、除却費補助の実施【耐震化率：95%（～2025年度）】など住宅・建築物の耐震化の促進 ○「流域治水」の考え方に基づく、流域のあらゆる関係者と連携した風水害対策の推進 ○災害ケースマネジメントの整備や「市町村のための災害時要配慮者支援体制構築マニュアル」の普及など災害時における要配慮者等への支援体制の強化 ○ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備【西尾市内 2024年度供用開始、弥富市内 2026年度供用開始】や、愛知県基幹的広域防災拠点の整備
1-3	安心して暮らせる地域づくり	○自動車から取得できるプローブ情報を活用した道路対策、歩道のバリアフリー化など交通弱者対策の推進 ○市町村の自転車活用推進計画及び自転車ネットワーク計画の策定促進【自転車ネットワーク計画作成市町村数：21市（～2026年度）】やヘルメットの購入支援など自転車事故の減少に向けた取組の推進 ○A I を活用した犯罪捜査等の実施による防犯環境の整備

2 次代を創る人づくり

主要政策		主な施策と目標等
2-1	創造性を伸ばす教育の推進	○あいちラーニングや高校での「公共」科目における主体的・対話的で深い学びの推進 ○県立高校における理科教育設備の充実や小学校における事業者と連携したプログラミング教育の充実 ○体力向上運動プログラムや体育の授業におけるICT機器の活用など学校体育の充実
2-2	多様性を尊重する教育の推進	○愛知県ファミリーシップ宣誓制度の運用、普及啓発など多様性を尊重する社会づくりの推進 ○名古屋東部地区新設特別支援学校の設置【2027年度開校】、西三河北部地区新設特別支援学校の設置【2027年度開校】、小牧特別支援学校の増築【2026年度供用開始】、いなざわ特別支援学校の増築【2025年度供用開始】など特別支援学校の学習環境や通学環境の改善 ○外国人児童生徒等を対象としたインターンシップの実施や県立学校への就労アドバイザーの配置
2-3	グローバル人材の育成	○中高一貫校への国際バカロレアの導入【2025年度開設（津島高校附属中学校）、2026年度開設（時習館・西尾併設中学校）】 ○グローバル人材育成の全県的な拠点校として、刈谷北高校国際探究科における教育活動の推進 ○県立大学における教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」の推進など異文化理解・国際交流の促進
2-4	魅力ある学校づくり	○デジタル人材育成拠点（DXハイスクール）におけるデジタル人材育成の抜本的強化 ○スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置拡充など学校における働き方改革の推進 ○フレキシブルハイスクールの設置【2025年度開設（佐屋、武豊、豊野、御津あおば高校）】 ○中高一貫校の設置【2025年度第一次導入校開校（明和、半田、刈谷、津島）、2026年度第二次導入校開校（豊田西、時習館、西尾、日進、衣台、美和、愛知総合工科）】 ○夜間中学の設置【2025年度開校（とよはし中学校）、2026年度開校（とよた、こまき、いちのみや中学校）】

3

すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり

主要政策		主な施策と目標等
3-1	女性の活躍促進	○あいち女性輝きカンパニーの認証など企業の女性活躍の取組に対する支援【認証企業数：2,000社（2025年）】 ○管理職として活躍する人材の育成や女性管理職比率向上のための調査・研究等の推進 ○男性の育児休業取得促進【男性の育児休業取得率：50%（2025年）】 ○女性起業家支援プログラムや子育て世代への職場復帰・再就職準備セミナーの実施
3-2	高齢者の社会参加の促進	○生涯現役支援のための市町村出張相談や再就職支援セミナー、高齢者向け合同企業説明会の開催【高齢者（65歳以上）の労働力率：26.9%（2025年）】 ○高齢者の介護分野への参入の促進や生きがいづくりの支援など社会参加の促進
3-3	若者や就職氷河期世代などへの支援	○ヤング・ジョブ・あいちにおける就職相談から職業紹介までのワンストップ支援の実施【利用者の就職者数（年間）：5,959人（2027年度）】 ○従業員の奨学金返還を支援する中小企業を対象とした補助の実施 ○あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームによる就職・正社員化等に向けた取組の実施や経済団体、県内企業への働きかけの実施【就職氷河期世代の正規雇用の増加数：5,900人（年間）】
3-4	障害のある人の活躍支援	○愛知障害者職業能力開発校等における職業訓練による技能の向上支援 ○あいち農福連携推進協議会を中心としたマッチング支援の充実など、農福連携による就労機会の創出・拡大 ○あいちアール・ブリュット障害者アーツ展の開催や企業と連携したアート雇用の推進 ○障害者スポーツの推進のためのトップレベルの選手等による講演会や実技指導の実施
3-5	外国人県民の活躍促進	○あいち地域日本語教育推進センターにおける情報発信の強化など日本語教育の総合的な推進 ○企業や外国人に対する総合的な相談対応や伴走型支援、就労支援のための相談や技能指導の実施
3-6	人生100年時代の学び直し	○県立大学でのICTリカレント教育コンシェルジュの実施やリカレントフォーラムの開催など社会人の学び直しの環境づくり ○高等技術専門校におけるIoT等のデジタル活用分野の職業訓練の実施 ○県立大学における学術講演会や公開講座等の開催、あいちシルバーカレッジの開催【年間受講者数：660人（毎年度）】
3-7	健康長寿	○ライフステージに応じた健康づくりや自殺対策の取組の推進など社会全体で支える健康づくりの推進 ○MDアンダーソンがんセンターとの連携や将来を見据えた建て替えなど愛知県がんセンターの機能強化

4 安心と支え合いの社会づくり

主要政策		主な施策と目標等
4-1	出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	○県主催大規模婚活イベントの開催やA I を活用したオンラインでのマッチング支援等の実施 ○日本版PACSの実現に向けた国への働きかけなど時代の流れ等を踏まえた社会の意識や制度の変更に向けた気運の醸成 ○不育症の検査に対する助成や将来子どもを持つことを望むがん患者等への妊よう性温存治療及び温存後生殖補助医療に対する補助 ○小規模保育など様々なタイプの保育への支援、保育士キャリアアドバイザーの配置による保育人材の確保
4-2	地域包括ケアシステムの構築支援	○介護予防の拠点となる「通いの場」の活性化を図ることを目的とするフォーラムの開催 ○認知症サポーターの養成や愛知県認知症希望大使と協働した普及啓発の実施 ○介護ロボット等の導入支援や、あいち介護生産性向上総合相談センターにおける介護事業者への支援【専門家による伴走支援実施事業所数：15 事業所（2024～2026 年度）】
4-3	障害のある人の地域生活と医療・療育の支援	○地域生活を体験する機会の提供やグループホームで働く世話人等の確保支援【地域生活移行者数：147 人（2022～2026 年度）】 ○医療的ケア児支援センターの運営など愛知県医療療育総合センターを中心とした支援体制の充実
4-4	外国人県民の生活支援	○あいち多文化共生センターにおける生活に関わる多言語での相談対応や、多文化ソーシャルワーカーによる専門的な相談対応の実施、「あいち医療通訳システム」の普及促進
4-5	安心できる医療体制の構築	○不足が見込まれる回復期機能を持つ病床への転換支援【回復期機能の病床数：19,480 床（2025 年度）】 ○医師不足地域への自治医科大学卒業医師等の派遣の実施【医師少数区域の解消（～2035 年）】
4-6	困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援	○困難を抱える女性への相談支援体制の整備、ひとり親家庭への総合的な相談支援、こども食堂への支援 ○ヤングケアラーへの支援、カスタマーハラスメント防止対策の推進

5

豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

主要政策		主な施策と目標等
5-1	新技術を活用した効率的な働き方の促進	○テレワーク導入に関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施する、あいちテレワークサポートセンターの運営やテレワーク関連セミナーの実施【中小企業のテレワーク導入率：30%（2025年度）】 ○アドバイザーによる情報セキュリティ対策とデジタル技術の活用についての相談対応 ○県民の利便性の向上・行政の効率化のためのオンライン化可能な行政手続のオンライン化【オンライン化可能な行政手続の原則オンライン化（2025年度）】や、収納事務のキャッシュレス化、デジタル活用による業務改善
5-2	多様で柔軟な働き方の促進	○働き方改革の普及促進のための企業ニーズに応じたセミナーや課題解決型のワークショップの開催 ○市町村や再開発組合等が実施する市街地再開発事業や優良建築物等整備事業の支援による職住近接のまちづくりの推進
5-3	ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大	○あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会によるあいちワーク・ライフ・バランス推進運動の実施【労働時間の短縮に向けた取組を実施している企業の割合：69%（～2025年度）】 ○愛知県ファミリー・フレンドリー企業の登録促進【新規登録企業数：年間130社（～2025年度）】 ○企業向けセミナーやワーク・ライフ・バランス普及コンサルタントの派遣による企業支援など、子育てや介護、治療と仕事が両立できる働き方が可能な職場環境づくりの支援 ○あいちウィーク（11/21～27）におけるイベントの企画・運営や、「休み方改革マイスター企業認定制度」の推進、「県民の日学校ホリデー」・「ラーケーションの日」の実施、「あいちスキ旅キャンペーン」の実施など「休み方改革」プロジェクトの推進

6 イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

主要政策		主な施策と目標等
6-1	STATION Ai を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成	○STATION Ai、あいち創業館の整備推進・運営【STATION Ai 2024 年 10 月オープン】 ○世界トップレベルのアクセラレーターによる国内スタートアップの成長の支援 ○海外のスタートアップ支援機関や大学との連携を通じた支援の実施 ○革新事業創造戦略に位置付けられた重点政策分野での官民連携によるイノベーションプロジェクトの推進
6-2	次世代産業の振興	○STATION Ai と名古屋駅付近を自動運転で結ぶ都市部の定期運行等の実施や、あいち自動運転ワンストップセンターによる自治体等の地域交通の確保に向けた自動運転の実証実験の円滑な実施の支援 ○ロボット未活用領域におけるロボットの導入を促進するための支援【ロボット製造業の製造品出荷額等：3,005 億円（2025 年）】 ○水素・アンモニアの社会実装に向けたサプライチェーンの構築や次世代バッテリーに関するプロジェクトの推進
6-3	中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上	○あいち産業DXコンソーシアムを中心とした、企業のデジタル化の進捗に応じたデジタル技術等の導入支援 ○地場産業の持続的発展のための、あいち産業科学技術総合センターによる技術支援【県が主導する大学等との共同研究件数及びあいち産業科学技術総合センターにおける共同研究数：50 件（2025 年度）】
6-4	産業人材の育成・確保	○デジタル人材、科学技術人材、グローバル人材などイノベーションを生み出す人材の育成・確保 ○大学・企業等と連携した県立高校におけるSTREAM教育の推進による先進的な理数教育の実施
6-5	スマート農林水産業等による生産力の強化	○農業総合試験場、大学、スタートアップ等の連携強化などによる農業イノベーションの創出 ○農地の大区画化・汎用化や用水路のパイプライン化、農道整備等による生産基盤の整備推進
6-6	県産農林水産物の需要拡大	○主要品目や次代を担う県開発品種等の品目・品種のブランド化の推進 ○輸出促進に向けた販売戦略の作成、商談会での販路開拓【県産農林水産物等の輸出商談成約率：35%（2025 年）】

7 世界とつながるグローバルネットワークづくり

主要政策		主な施策と目標等
7-1	Aichi Sky Expo の活用などによる M I C E の誘致・開催と国際観光 都市の実現	○国内外の展示会・イベント主催者への P R ・誘致活動の支援など Aichi Sky Expo を最大限に活用した誘致活動の推進【Aichi Sky Expo の年間想定稼働率（展示ホール）：25%（2024～2026 年度）】 ○M I C E を核とした国際観光都市の実現をめざした魅力ある機能整備の具体化に向けた検討
7-2	アジア・アジアパラ競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり	○友好・協力関係にあるアジア諸国との関係深化や新たな国・地域とのネットワークづくりの推進 ○あいちの農林水産業魅力向上プロジェクトの推進による「Made in AICHI」のブランド力強化
7-3	グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進	○あいち国際ビジネス支援センターによる国際ビジネスに関する相談対応や、専門家によるハンズオン型支援などの県内企業の海外展開支援【センターの利用件数：年間 800 件（～2025 年度）】 ○G N I C、ジェトロなど関係機関との連携や、海外産業情報センターによる総合的な支援など本県への外国企業の誘致や海外からの投資の促進【外国企業の誘致件数：80 件（2021～2030 年度累計）】
7-4	海外からの人材獲得	○愛知の産業のグローバル化を支える留学生の受入れ支援 ○外国人留学生を対象としたインターンシップの実施等による県内企業への就職促進【県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数：1,600 人（2027 年）】 ○海外大学等との連携・協力による本県の知名度向上や人材交流、経済連携の促進
7-5	海外とのパートナーシップの構築	○友好提携や経済連携を結んだ国・地方政府への知事渡航など幅広い分野での交流の推進や、新たなパートナーシップの構築に向けた検討 ○海外大学・支援機関等との人材交流・技術交流の深化や、新たな連携・協力関係の構築に向けた検討

8

日本中央回廊の中心を担う大都市圏づくり

主要政策		主な施策と目標等
8-1	中京大都市圏の拠点性の向上	○リニア中央新幹線の早期全線整備に向けた期成同盟会（全国・県）を通じた要望、調整、啓発活動等の実施 ○広域的な道路ネットワークとして、新東名高速道路等の整備促進へ向けた国への働きかけや、西知多道路などを始め主要幹線道路網の整備・充実 ○MaaSやAIオンデマンド交通などの新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施 ○中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国等への働きかけや、航空需要の拡大に向けた取組の推進、県営名古屋空港におけるコミューター航空、ビジネス機など小型航空機の拠点化の推進 ○名古屋港、衣浦港、三河港の物流機能の強化 ○中部国際空港島及び周辺地域におけるあいちデジタルアイランドプロジェクトの推進
8-2	交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携	○北陸圏との連携・交流を活性化させる北陸・中京間的高速鉄道ネットワークの確保・充実 ○リニア中央新幹線開業後の東海道新幹線の利活用の促進に向けた、鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策等の具体的な検討 ○三遠南信地域内の連携や交流の基盤となる三遠南信自動車道の整備促進や、浜松湖西豊橋道路の早期実現に向けた国への働きかけ
8-3	持続可能でスマートな地域づくり	○市町村が行う民間空き家等の除却・改修に対する支援など空き家対策の推進 ○愛知県・市町村人口問題対策検討会議の開催による人口問題対策の推進 ○県有施設・社会インフラの長寿命化計画に基づく効率的な維持管理の推進 ○上下水道事業における官民連携手法の導入可能性の検討や、IGアリーナ（愛知県新体育館）、STATION Ai等の整備におけるコンセッション方式の導入・推進

9

選ばれる魅力的な地域づくり

主要政策		主な施策と目標等
9-1	ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開	○ジブリパークの来園者のニーズに沿った観光プログラムの造成や、来園者データ等を活用した「ジブリパークのある愛知」のPR・プロモーションの実施 ○愛知万博20周年記念事業の実施による愛知万博の理念継承・魅力発信【2025年】
9-2	世界に向け創造・発信する文化芸術の振興	○国際芸術祭「あいち2025」の開催【2025年】 ○愛知芸術文化センターや県陶磁美術館における民間活力や地方独立行政法人制度の導入に向けた検討 ○あいち朝日遺跡ミュージアムでの企画展の開催による文化財の魅力発信
9-3	アジア・アジアパラ競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催	○アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた施設整備や大会運営、輸送等の計画策定、大会のPRの実施【2026年開催】 ○トップアスリートの発掘、育成、強化のためのアカデミーの実施や本県ゆかりの選手への支援 ○アジア・アジアパラ競技大会終了後のレガシーの創出に向けた具体的な施策の検討 ○IGアリーナ（愛知県新体育館）のBTコンセッション方式による整備・運営【2025年7月オープン】
9-4	愛知ならではの観光の推進	○愛知ならではの「ツウ」な魅力を盛り込んだ、ターゲットに合わせた観光プログラムの造成・販売や、データに基づく効果的・効率的な観光のPRなど、「あいち『ツウ』リズム」の普及推進 ○発酵食文化の振興・国内外への魅力発信など、食に関する観光の推進
9-5	観光交流拠点としての機能強化、人材育成	○高付加価値旅行者等と呼び込むためのニーズの的確な把握や、体験型コンテンツの造成支援、高級ホテルの立地促進、多言語コールセンターの運営による外国人旅行者の受入れ環境の整備
9-6	居住地として選ばれる魅力の創造・発信	○あいちUIJターン支援センターにおけるUIJターン希望者の掘り起こしや個別相談による就労支援の実施 ○「あいち県民の日」及び「あいちウィーク」の啓発や愛知県ゆかりの偉人の業績・功績の周知によるシビックプライドの醸成

主要政策		主な施策と目標等
10-1	脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進	○住宅用地球温暖化対策設備の導入に対する補助など環境に配慮した建築物の普及促進 ○EV・PHV・FCV等の先進環境対応自動車の導入支援【保有割合：20%（2030年度）】 ○カーボンニュートラルの実現に向けた、矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトや浮体式洋上風力発電の実証事業などの推進 ○常滑窯業試験場における水素を燃料とする試験工業炉の整備
10-2	人と自然との共生の実現	○生物多様性サポーターフォーラムの開催やあいち生物多様性企業認証制度の運用など、様々な主体の協働による「あいち方式2030」の確立 ○あいち森と緑づくり税などを活用した森林・里山林、都市の緑の整備、保全 ○伊勢湾再生行動計画に基づく取組や三河湾環境再生プロジェクトの推進
10-3	循環型社会づくり	○あいち資源循環推進センターを拠点とした、あいちサーキュラーエコノミー推進モデルの具体化【モデルの具体化：6件（2022～2031年度）】 ○あいち食品ロス削減パートナーシップ制度の運用【食品ロス発生量：43万3,000トン（2026年度）】 ○優良産廃処理業者認定制度の周知や認定業者の情報発信など、産業廃棄物業界全体の優良化の促進
10-4	持続可能な社会を支える人づくり	○もりの学舎での自然体感プログラムや「あいち環境塾」の開催など、未就学児童から大学生、中高年・シニアに至るまで各世代に応じた環境学習等の機会の拡充 ○愛知県SDGs登録制度「あいちSDGsパートナーズ」の運営などによる市町村、企業、NPO、大学など多様なステークホルダーの取組推進 ○啓発イベントの開催やポータルサイトによるエシカル消費などの消費者教育・啓発の推進【エシカル消費ポータルサイトへのアクセス件数：毎年度5,000件】

重要政策の方向性に位置付けた進捗管理指標の 2026 年頃の進捗目標

重要政策の方向性①

進捗管理指標	進捗目標	現状
家具の固定率	65% (2026 年度)	58.1% (2023 年度)
事業継続計画を策定している中小企業割合	14.8% (2026 年度)	13.9% (2023 年度)
交通事故死者数	125 人以下 (2025 年)	145 人 (2023 年)

重要政策の方向性②

進捗管理指標	進捗目標	現状
県立高等学校第 3 学年において、英検準 2 級以上を取得している生徒及び英検準 2 級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合	48%程度 (2026 年度)	46.1% (2023 年度)
授業中に I C T を活用して指導できる公立学校の教員の割合	100% (2025 年度)	73.5% (2022 年度)

重要政策の方向性③

進捗管理指標	進捗目標	現状
労働力率	64.5%を上回る (2026 年)	65.7% (2023 年)
管理的職業従事者に占める女性の割合	20% (2025 年)	14.4% (2022 年)
民間企業における障害者の実雇用率	法定雇用率 (2.7%) ※の達成 (2026 年) ※2026 年 7 月以降	2.28% (2023 年)

重要政策の方向性④

進捗管理指標	進捗目標	現状
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差	0.35 人程度 (2026 年度)	0.35 人 (2023 年度)
地域生活支援拠点等が有する機能の充実に取り組む市町村数	全市町村 (2026 年度)	42 市町村 (2022 年度)
健康寿命	男性 73.87 年以上、女性 76.65 年以上 (2026 年度)	男性 72.85 年、女性 76.09 年 (2019 年度)

重要政策の方向性⑤

進捗管理指標	進捗目標	現状
一般労働者の年間総実労働時間数	1,950 時間 (2025 年)	1,976 時間 (2023 年)

重要政策の方向性⑥

進捗管理指標	進捗目標	現状
製造品出荷額等の全国シェア	15.1%程度（2026 年）	14.5%（2021 年）
研究開発費の全国シェア	15.1%程度（2026 年度）	14.2%（2021 年度）
農業産出額	3,180 億円程度（2026 年）	3,114 億円（2022 年）

重要政策の方向性⑦

進捗管理指標	進捗目標	現状
国際会議の開催件数	260 件（2026 年）	25 件（2022 年）
外国企業の誘致件数	35 件（2024～2026 年度累計）	5 件（2023 年度）
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数	1,600 人（2026 年）	1,575 人（2022 年）

重要政策の方向性⑧

進捗管理指標	進捗目標	現状
企業の本社（本社・本店）の数の全国シェア	6.5%程度（2026 年）	6.2%（2021 年）
労働力人口の全国シェア	6.4%程度（2026 年）	6.2%（2023 年）

重要政策の方向性⑨

進捗管理指標	進捗目標	現状
観光消費額	1.1 兆円（2026 年）	6,997 億円（2022 年）
愛知県の転出入者数（社会増減数※）	4.2 万人（年平均 1.4 万人）の転入超過 （2024～2026 年累計）	13,449 人（2023 年）

※外国人を含む。

重要政策の方向性⑩

進捗管理指標	進捗目標	現状
温室効果ガスの総排出量の削減率（2013 年度比） 【再掲】	46%削減（2030 年度）	15.2%削減（2021 年度）
県民の「生物多様性」という言葉の意味の認識状況	63.1%（2025 年度）	51.2%（2020 年度）
SDGs の理解度	70.9%（2026 年度）	68.8%（2024 年度）